

第 3 回 高 校 生 東 南 ア ジ ア 小 論 文

コ ン テ ス ト

最 優 秀 賞

北 海 道 清 水 高 等 学 校 3 年

渡 久 山 勝 炉 希 さ ん

第3回最優秀賞作品
渡久山 勝炉希さん(ベトナム部門)

同じアジアでも、その国や地域によって色々な埋葬法やお盆があることに気づいた。特に、ベトナムで行われている葬儀やお盆に興味を湧いた。興味を持った理由は、私の地元である沖縄県と、習慣が似ていると思ったからだ。

私の地元の沖縄では、旧暦の7月13日から15日の3日間がお盆の期間となっていて最終日の3日目にはベトナムと同じように、ご先祖様があの世でも困らないようにと、お店で売られているウチカビという紙に銭のマークが印刷されているあの世のお金を燃やすという習慣がある。ベトナムと異なるところは、紙で作られたタブレット端末やスマートフォンなど、ありとあらゆるものを燃やすといったことはしないという点だ。そして、沖縄の人の感覚では、お盆の日というのは日本人の多くが考える遊びに行く日という考えではない。親戚一同が祖父母の家に集まり、みんなで過ごすという家庭に戻る日というのが一般

第3回最優秀賞作品
渡久山 勝炉希さん(ベトナム部門)

的だ。だから、ニュースなどでお盆休みに海外に旅行に行くという報道を目にすると私達沖縄人の感覚では少し信じがたいものがある。また、お盆の日にはご先祖様は海を渡ってくるという考え方がある。沖縄の人は他県に比べても、お盆の日の3日間は海で泳いだり、釣りをしに行ったりしてはいけないという考え方が強く根付いている。お盆＝お墓というイメージが強いのかもしれない。しかも、沖縄の人の考え方では、ご先祖様が家に来てくれるから、お墓には行かずに家で過ごすという家庭も少なくない。さらに、お盆の日には、イベントごとでエイサーという沖縄伝統の行事も行われる。しかし、最近では騒音問題や深夜までの活動が問題視され、活動の自粛が進んでいることが懸念される。

一方ベトナムでは、沖縄とは違う3つの埋葬方法がある。日本なら、人が亡くなったら火葬という方法で埋葬するのが一般的だ。しかし、ベトナムでは火葬、土葬、洗骨葬という3

第3回最優秀賞作品
渡久山 勝炉希さん(ベトナム部門)

つ の 方 法 で 埋 葬 が 執 り 行 わ れ る 。 ま た 、 ベ ト ナ ム で は 風 水 で お 墓 の 場 所 を 決 め る 。 そ の た め 、 個 々 人 で お 墓 の 場 所 が 異 な る 。 だ か ら 、 先 祖 代 々 受 け 継 が れ る お 墓 と い う も の が 存 在 し な い の だ 。

今 回 、 ベ ト ナ ム の 埋 葬 や お 盆 に つ い て 調 べ べ ト ナ ム と い う 国 は 死 を 、 新 し い 生 へ の 旅 立 ち と 捉 え て い る こ と が 分 か っ た 。 つ ま り 、 死 に 対 し て 前 向 き な 考 え 方 を 持 っ て い る の だ 。 日 本 に 限 ら ず 世 界 の ほ と ん どの 国 は 、 死 と い う と ど う し て も マ イ ナ ス の イ メ ー ジ を 持 ち が ち だ 。 死 は 確 か に 喪 失 と い う 点 で 怖 い も の な の か も し れ ない 。 し か し 、 恐 れ る 必 要 は ない と 私 は 思 う 。 ベ ト ナ ム の よ う に 、 死 は 新 し く 生 ま れ 変 わ る も の だ と 考 え 、 前 向 き に 捉 え る べ き だ 。 そ う で き れ ば 、 日 本 人 の 死 に 対 す る 考 え 方 も 変 わ っ て い く と 私 は 思 う 。 日 本 も ベ ト ナ ム の 考 え 方 を 取 り 入 れ て い く べ き だ と 、 今 回 調 べ て い て 強 く 感 じ た 。

第3回最優秀賞作品
渡久山 勝炉希さん(ベトナム部門)

参 考 資 料 :

ホ ー ム ペ ー ジ

① イ ベ ン ト 日 記

② お 盆 行 事 の 県 外 と の 違 い は

③ <https://jamaica7.com/archives/978>

ホ ー ム ペ ー ジ

① 終 活 ネ ッ ト

② ベ ト ナ ム の お 墓 事 情 に つ い て 解 説

③ <https://syukatsulabo.jp/grave/article/>

7 0 7 5